

世界中の人にチャンスを与える。

ソディとスレイラが努力して掴んだチャンス! 初体験ばかりの日本研修での滞在でどんなことを感じた?

「古着 de ワクチン」の拠点であるカンボジア直営センターでは、ポリオの後遺症に苦しむ方やゴミ山で暮らしていたストリートチルドレン出身の若者が働いている。ソディさんとスレイラさんもそんな境遇で育ってきた。しかし、彼女たちは心の底から自立したいと願い、人の何倍も努力してきた。その結果、約100人もスタッフをまとめるリーダーに抜擢され、研修として日本に来るチャンスを手に入れた。



海外渡航はもちろん、飛行機に乗るのも初めての2人。緊張したが窓の外を見て感動した。「自分の人生で雲の上を見ることが出来る日が来るなんて!」とソディさん。初めての日本食にも挑戦! 「盛りつけがアートみたいにきれいだった。生魚はちょっと苦手だけど(笑)」とスレイラさん。他にも休日には夏祭りに行くなど、充実した日本滞在を満喫した。10日間の日本研修を振り返ってみてどうだった? 「日本人はいつも“ありがとう”と伝え合っていて、感謝をすることの大切さを学びました。カンボジアで実践していきます(ソディ)。「日本でたくさんの人と出会い今までにない経験をして“シャイな自分を変えたい!”と強く感じました。今後はもっと発言していきます(スレイラ)。日本での経験が、彼女たちの未来をさらに輝かせるチャンスになりそうだ。

ソディとスレイラから読者のみなさまへメッセージ

私はかつてゴミ山に住んでいました。でも今は素敵な仕事と大切な仲間が生まれ、私の過去を悪く言う人はいません。外に出られる日がきたら、あなた自身のことを大切に考えて生きてほしいです。過ちを犯した人であっても許される権利があるからです。私もがんばります。



スレイラさん(左)
ソディさん(右)

私は障がいがあり不遇な扱いを受けてきましたが、諦めずに小さな努力を続けていたら大きなチャンスがやってきました。毎日がいい自ではないかもしれませんが諦めずにお互いががんばりましょう。あなたの未来に最高の日がやってきますように。

古着deワクチンのキットづくりを刑務作業に!

日本リユースシステム株式会社

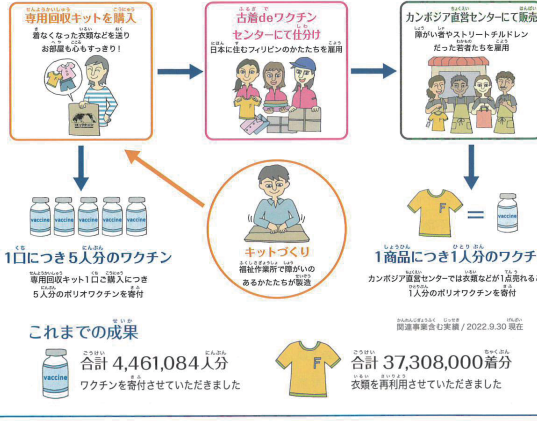


古着deワクチンセンターでの研修

「古着deワクチン」をご利用いただいたお客さまに伝えたいこと

日本のみなさまが「古着deワクチン」を信用し、大切な衣類などをカンボジアに送っていただくことで、私たちは仕事をすることができます。研修中、毎日たくさん衣類回収袋が古着deワクチンセンターに届く様子を見て、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。みなさまの思い出がたくさん詰まった品物を大切に扱い、世界中の必要とされる人たちに届けたいと思います。これからも、応援してください。

古着deワクチンのしくみ 着なくなった衣類などで世界の子どもの命を救えます!



「古着 de ワクチン」コールセンター

注文専用電話番号: 0120-126-316 / お問い合わせ電話番号: 0120-206-225

受付時間: 9:00 ~ 17:30 (土日祝も受付)

写真提供: 日本リユースシステム株式会社 イラスト: ハセナオ

Vol.20
2022 冬

チャンス
Chance!!

「絶対にやり直す」という覚悟のある人と、それを応援する企業のための求人誌



インタビュー
起業家

カラテカ入江慎也さん

特集

厚生労働省 社会・援護局総務課
矯正施設退所者地域支援対策官

伊豆丸剛史さん

少年院・留置場・拘置所・刑務所内でも面接可能!
全全身元引受可能、社宅・寮完備!
新規4社を含む全30社掲載!!

有効期限
2023/2/28